

大阪の現況データ

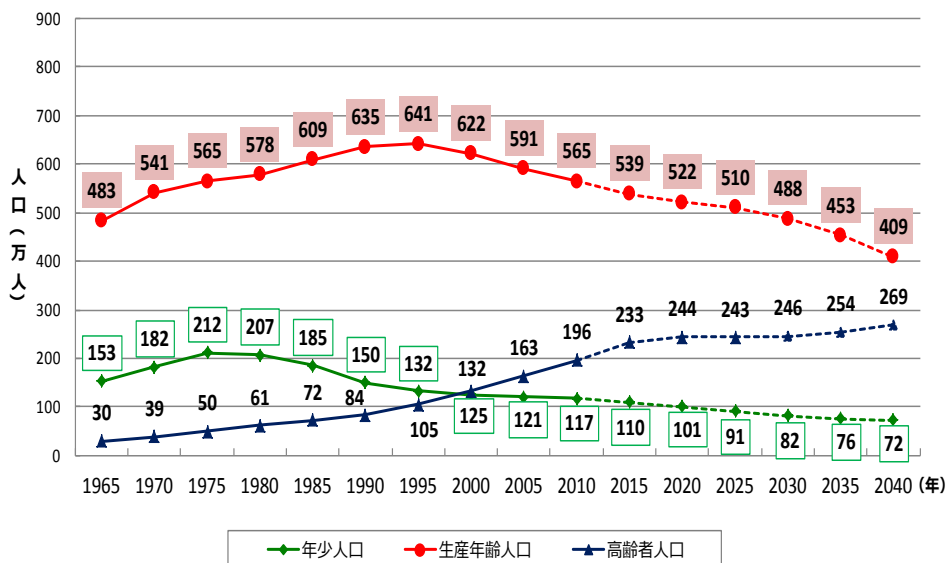
日本、大阪の現状・課題

◆人口減少・少子高齢化などの社会の急激な変化

(世界でも類を見ない超高齢化、3大都市圏でもいち早く人口減少)

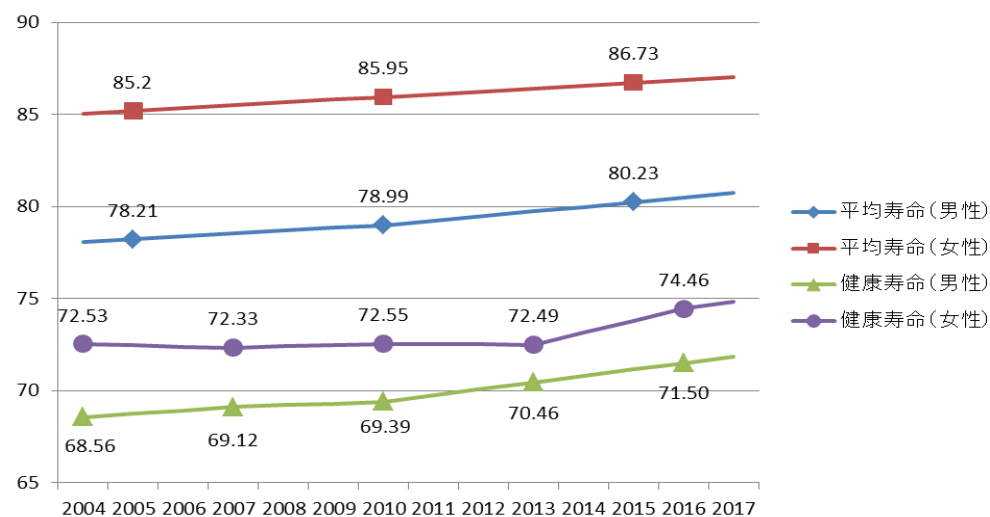
健康寿命は、依然として全国ワーストクラス、伸び悩みは大きな課題。
行政だけでなく、民間企業・団体、大学・研究機関、住民など様々な主体の取組が必要。

【生産年齢人口・高齢者人口】



出典：大阪府

【大阪府の健康寿命・平均寿命】



出典：厚生労働省

大阪の現状・課題（強み①）

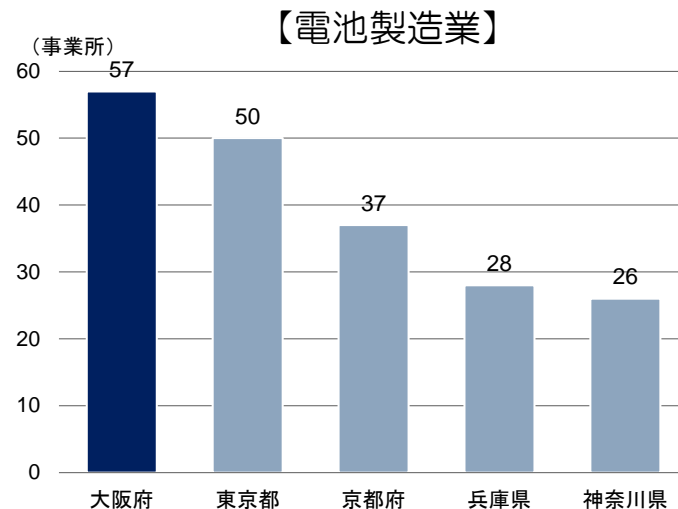
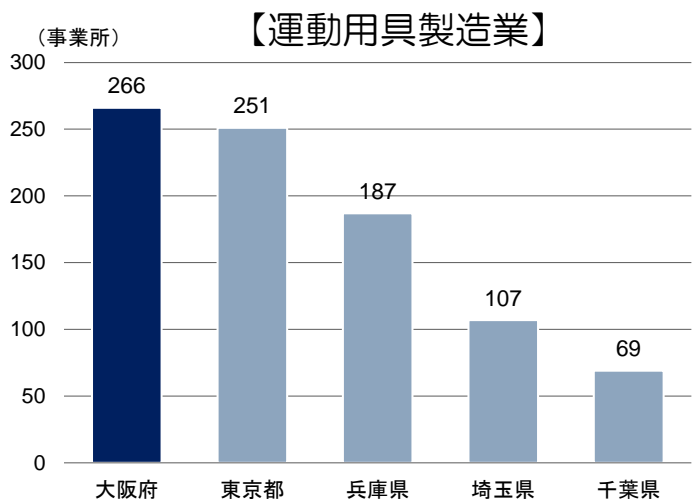
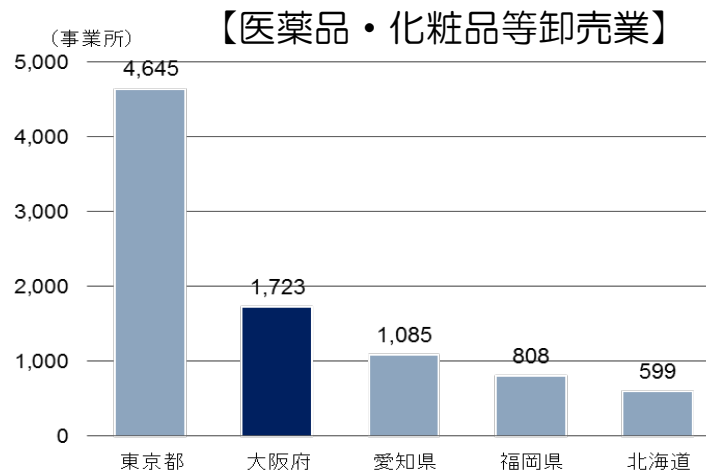
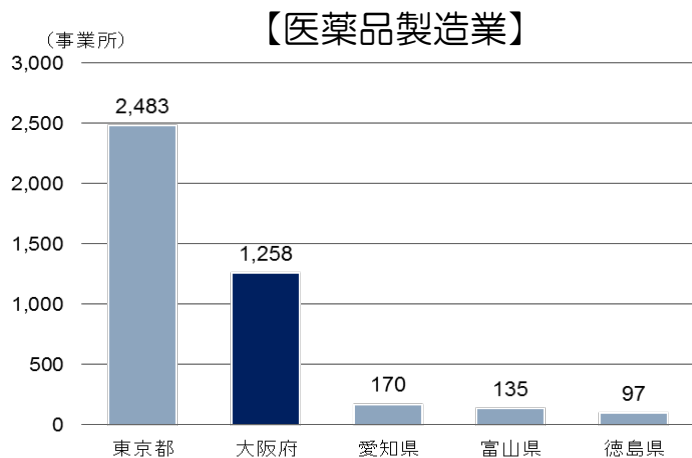
◆食・文化・スポーツ等の多彩なラインアップ

【主要な観光地・スポーツ・エンターテインメント施設の集積】



大阪の現状・課題（強み②）

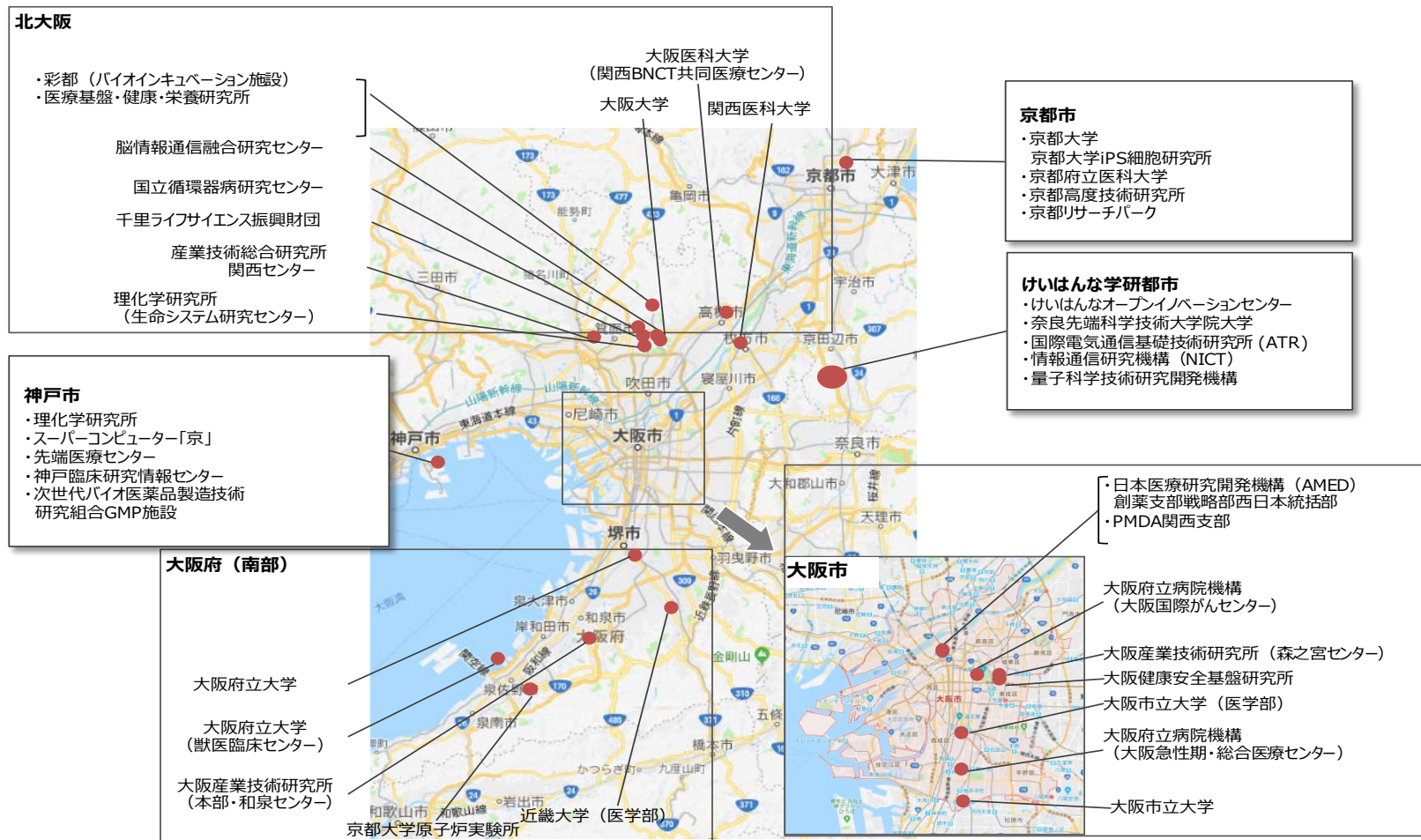
◆幅広い健康関連産業、環境関連産業、ものづくり企業等の集積



大阪の現状・課題（強み③）

◆ライフサイエンス関連の企業、大学等の集積

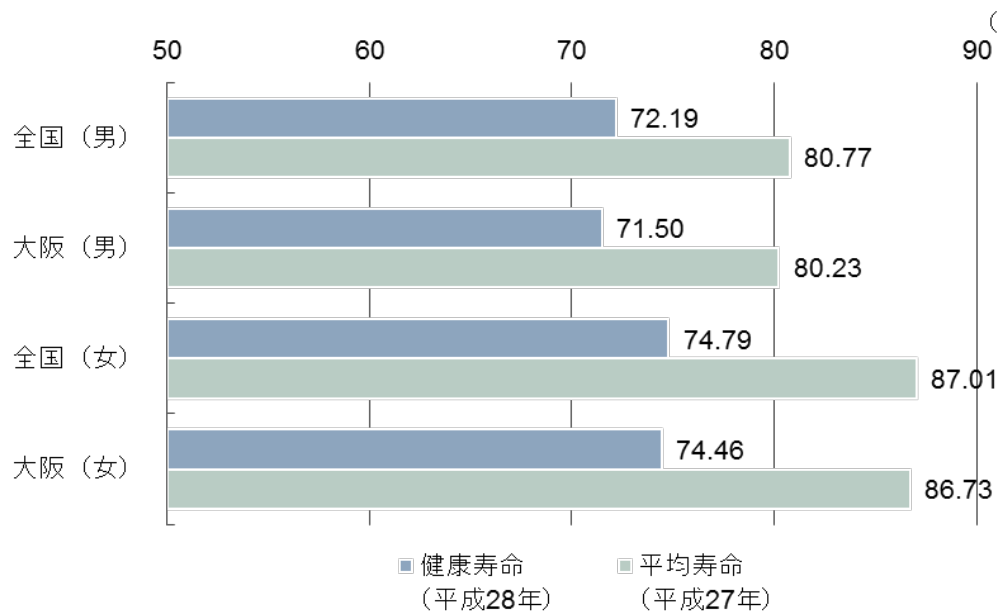
【大阪・関西のライフサイエンスクラスター】



大阪の現状・課題（課題①）

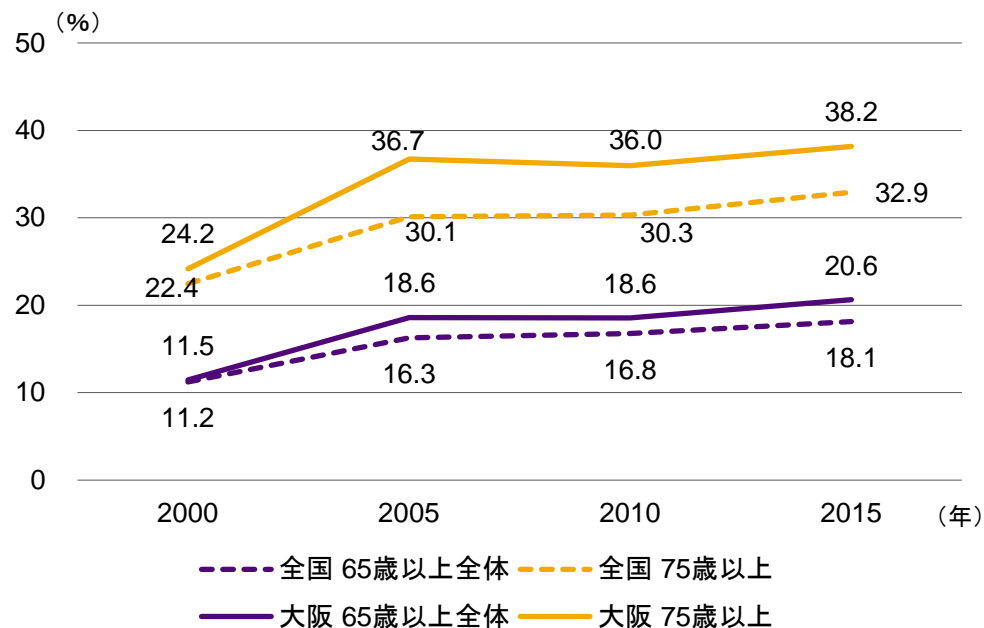
◆男女とも短い健康寿命、平均を上回る要介護（要支援）認定者数等

【健康寿命・平均寿命】



出典：健康寿命：厚生労働省「都道府県別健康寿命」
平均寿命：厚生労働省「都道府県別生命表の概況」

【要介護認定率の推移】

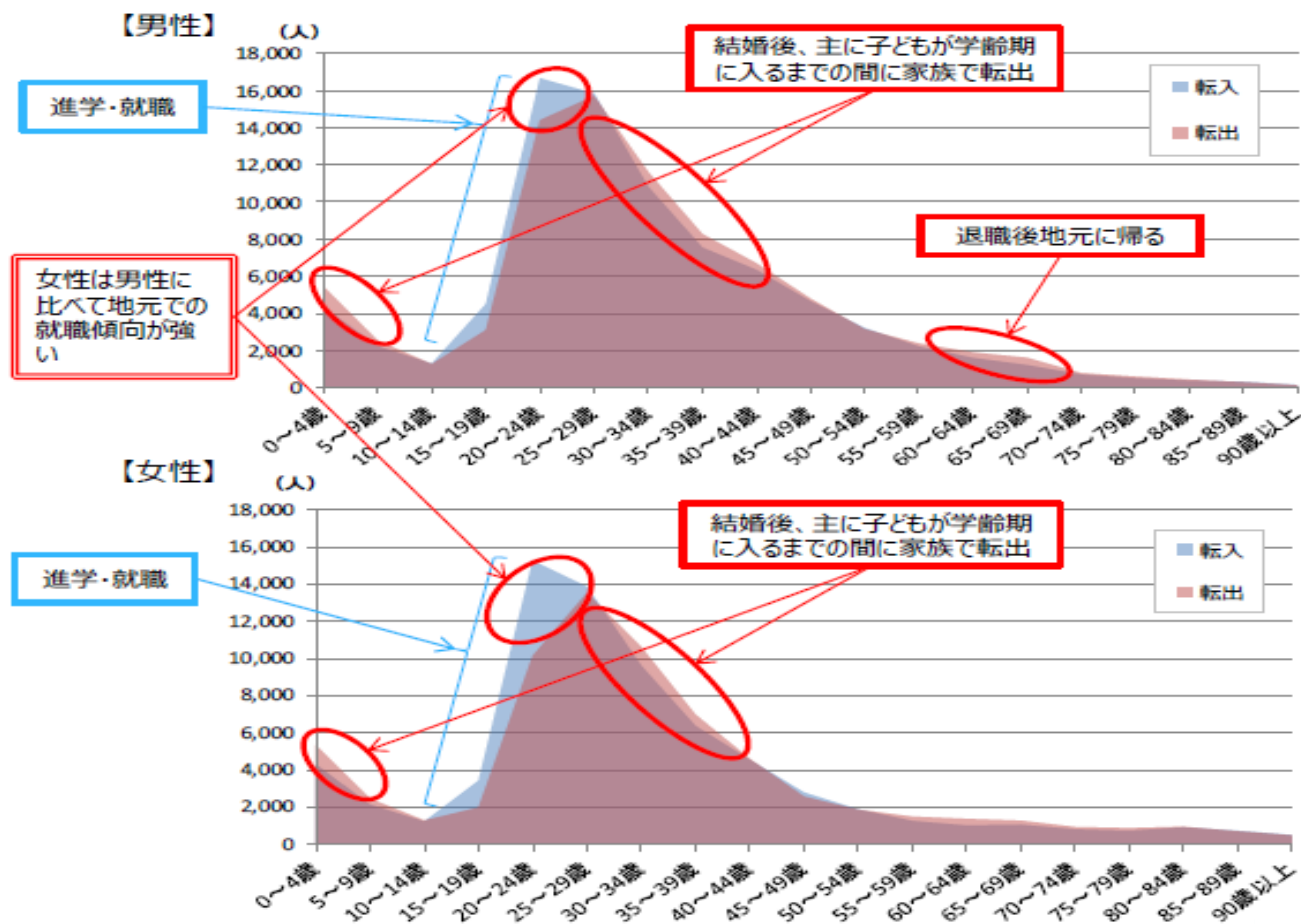


出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

大阪の現状・課題（課題②）

◆中堅世代の人口転出

【大阪府の年齢階層別転出入】

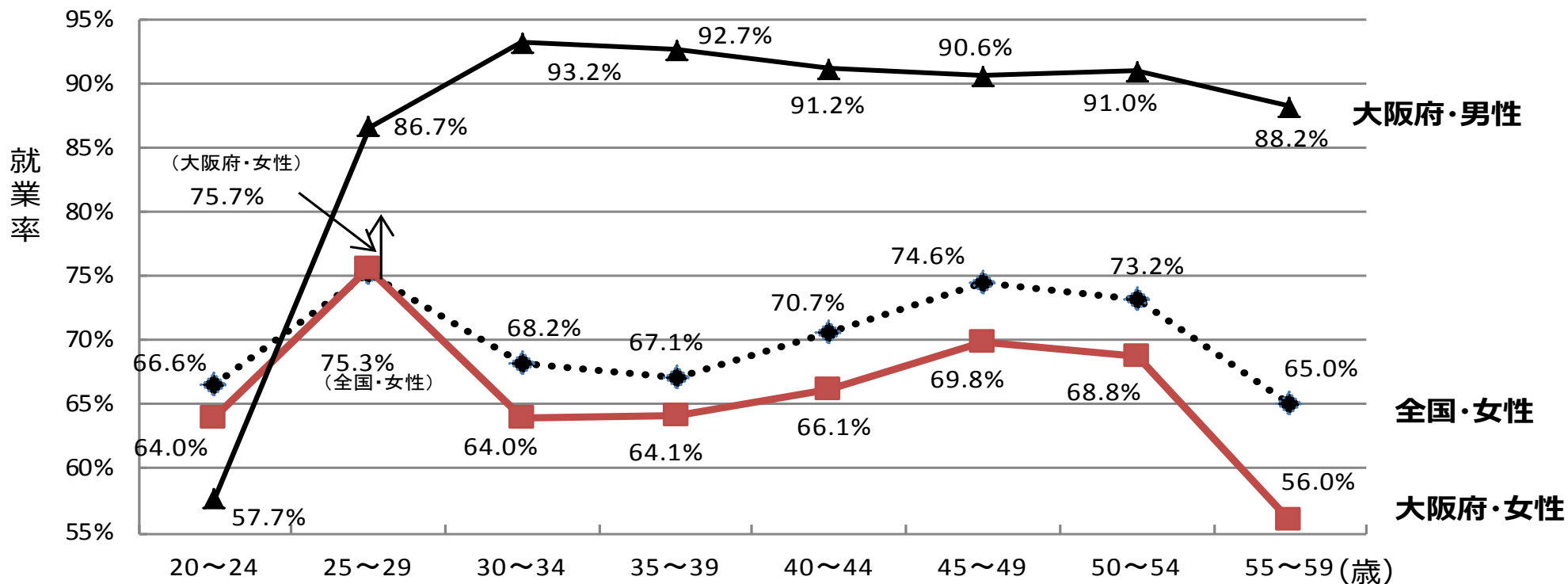


就業率

大阪の現状・課題（課題③）

◆女性の就業率の低さ

【年代別女性の就業率】



大阪府 健康関連基礎データ (①寿命に関するもの)

	男性		女性	
	大阪府	全国平均	大阪府	全国平均
平均寿命 (2015年)	80.23歳 (38位)	80.77歳	86.73歳 (38位)	87.01歳
健康寿命<国民生活基礎調査> (2016年)	71.5歳 (39位)	72.14歳	74.46歳 (34位)	74.79歳
健康寿命<要介護度> (2013年)	78.01 (40位)	78.72歳	82.48 (46位)	83.37歳
癌による死亡率 (10万人あたり) (2015年)	181.3 (43位)	165.3	93 (43位)	87.7
心疾患による死亡率 (10万人あたり) (2015年)	72.9 (39位)	65.4	37.6 (36位)	34.2
肺炎による死亡率 (10万人あたり) (2015年)	44.8 (44位)	38.3	19.6 (45位)	15.8
脳出血疾患による死亡率 (10万人あたり) (2015年)	33.2 (5位)	37.8	16.6 (1位)	21

※()は、全国数値を良いものから並べた場合の順位

大阪府 健康関連基礎データ (②個人の行動に関するもの)

	男性		女性	
	大阪府	全国平均	大阪府	全国平均
ウォーキング率 (2016年)	36.7 (19位)	37.7	42 (28位)	44.8
スポーツ行動者率 (2016年)	72 (24位)	73.5	62.2 (20位)	64.4
旅行率 (2016年)	68.8 (27位)	71.1	73.8 (26位)	75.8
趣味娯楽率 (2016年)	86.2 (19位)	87.2	87 (11位)	86.8
趣味読書 (2016年)	37.2 (5位)	34.8	42.8 (8位)	42.4
学習・自己啓発・訓練等 (2016年)	37.3 (9位)	36.5	38 (10位)	37.4
ボランティア率 (2016年)	18.4 (47位)	25	22.6 (44位)	26.9
野菜摂取量 (2016年)	253.5 (45位)	284.2	226.8 (46位)	270.0
食塩摂取量 (2016年)	9.9 (3位)	10.8	8.4 (2位)	9.2
BMI (2016年)	24.0 (17位)	23.8	22.7 (22位)	22.6
喫煙率 (2016年)	29.3 (22位)	29.7	—	—
一日2合以上飲む割合 (2015年)	25.3 (36位)	—	7.1 (44位)	—
特定健康診査受診率 (2015年)	45.6 (36位)	50.1	左記データが男女合計値	—
特定保健指導実施率 (2015年)	13.1 (46位)	17.5	左記データが男女合計値	—

※()は、全国数値を良いものから並べた場合の順位

大阪府 健康関連基礎データ (③社会・環境に関するもの)

	大阪府	全国平均		大阪府	全国平均
老年人口割合 (2015年)	26.1% (11位)	26.6%	主要道路舗装率 (2014年)	99.6% (6位)	97.5%
年平均気温 (2015年)	17.2℃ (8位)	—	勤労世帯・収入ジニ係数 (2014年)	0.248 (19位)	0.256
1人あたり県民所得 (2013年)	2,99.5万円 (13位)	3,065万円	雪日数 (2015年)	17日 (23位)	—
生活保護費割合 (2014年)	0.24% (35位)	0.54%	まちづくりのための活動(男性) (2016年)	7.4% (46位)	12.3%
第1次産業就業者比率 (2010年)	0.5% (46位)	4%	まちづくりのための活動(女性) (2016年)	8.2% (43位)	10.4%
第3次産業就業者比率 (2010年)	68.7% (10位)	66.5%	総労働時間 (2016年)	141.8時間 (8位)	143.7時間
完全失業率 (2010年)	8% (45位)	6.4%	現金給与総額 (2016年)	334,322円 (3位)	315,590円
都市公園数 (2014年)	472.1所/百km ² (3位)	86.38所/百km ²	図書館数 (2011年)	16.3館/百万人 (44位)	25.6館/百万人
保健師数 (2014年)	24.3人/十万人 (46位)	38.1人/十万人	一般世帯数に占める65歳以上の 高齢単身者世帯割合 (2015年)	13.28% (41位)	11.11%

※()は、全国数値を良いものから並べた場合の順位

大阪府 健康関連基礎データ（参考：データ出典）

平均寿命	厚生労働省「平成27年都道府県別生命表」	老年人口割合	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
健康寿命〈国民生活基礎調査〉	厚生労働省「科学研究報告書」	年平均気温	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
健康寿命〈要介護度〉	厚生労働省「科学研究報告書」	1人あたり県民所得	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
癌による死亡率	厚生労働省「平成27年人口動態統計特殊報告」	生活保護費割合	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
心疾患による死亡率	厚生労働省「平成27年人口動態統計特殊報告」	第1次産業就業者比率	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
肺炎による死亡率	厚生労働省「平成27年人口動態統計特殊報告」	第3次産業就業者比率	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
脳出血疾患による死亡率	厚生労働省「平成27年人口動態統計特殊報告」	完全失業率	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
ウォーキング率	総務省「平成28年社会生活基本調査」	都市公園数	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
スポーツ行動者率	総務省「平成28年社会生活基本調査」	10万人あたり保健師数	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
旅行率	総務省「平成28年社会生活基本調査」	主要道路舗装率	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
趣味娯楽率	総務省「平成28年社会生活基本調査」	勤労世帯（収入ジニ係数）	総務省「平成26年全国消費実態調査」
趣味読書	総務省「平成28年社会生活基本調査」	雪日数	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
学習・自己啓発・訓練等	総務省「平成28年社会生活基本調査」	まちづくりのための活動（男性）	総務省「平成28年社会生活基本調査」
ボランティア率	総務省「平成28年社会生活基本調査」	まちづくりのための活動（女性）	総務省「平成28年社会生活基本調査」
野菜摂取量	厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査」	総労働時間	厚生労働省「平成28年度毎月勤労統計調査」
食塩摂取量	厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査」	現金給与総額	厚生労働省「平成28年度毎月勤労統計調査」
BMI	厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査」	図書館数	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
喫煙率	厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査」	一般世帯数に占める65歳以上の高齢単身者世帯割合	総務省「統計で見る都道府県の姿2018」
一日2合以上飲む割合	厚生労働省「第2回NDBオープンデータ」		
特定健康診査受診率	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」		
特定保健指導実施率	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」		

※健康関連基礎データは、「データを活用した滋賀県の長寿要因の解析」〈滋賀県衛生科学センター、滋賀大学データサイエンス学部、データ活用事業プロジェクト会議（2018）〉を参考に選定し記載。